

# おおつち 社協会報

## 表紙の写真

10月1日から赤い羽根共同  
募金運動が始まりました。

令和6年度の募金運動で皆様からたくさんのあたたかい  
ご協力をいただいています。

今年度の目標額や募金に活用した事業は1ページの中で  
紹介しています。



## 主な記事

- P1 赤い羽根共同募金について
- P2 自然災害と社会福祉協議会
- P3 地域活動レポート・介護ナビゲーション
- P4 こづちちゃんが行く



# 赤い羽根共同募金

## ～支える人を支える募金～

今年も10月1日から翌年の3月31日にかけて、赤い羽根共同募金が実施されます。共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」として、取り組まれています。皆様からご協力いただいた募金は、令和7年度に岩手県共同募金会を通じて、地域に配分されることとなります。

みなさまの温かいご支援、ご協力をよろしくお願いします。

令和6年度 募金目標額の内訳	
<b>全県目標額</b> 県内福祉施設の整備や、災害への備えのために活用されます。	870,000円
<b>地域目標額</b> 大槌町の地域福祉活動を推進するために活用されます。	1,797,000円
合計	2,667,000円

## 共同募金を活用している事業のご紹介



### お茶っこの会助成事業

地域の高齢者が外出するきっかけや、健康・生きがいづくり、孤立防止などにつながるよう、サロン活動を実施する「お茶っこの会」へ活動費を助成しています。

お茶っこの会は、地区の民生委員などを中心に、地域の状況に合わせ開催しています。令和6年度は町内15地区へ助成を行いました。

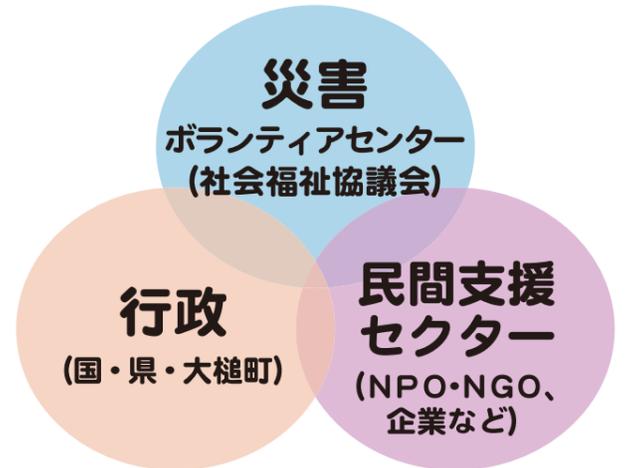
### 社会福祉協力校指定事業

町内の小学校・中学校・高等学校を「社会福祉協力校」として指定し、防災研究活動・地域の方々との環境整備活動・高齢者とのふれあい活動・共同募金活動など、様々な取組みを通じて、思いやりのある心やボランティア精神、福祉に対する関心を高めます。



## 自然災害と社会福祉協議会

三者連携のイメージ



社会福祉協議会は、社会福祉法に基づき設置された地域福祉を推進する民間団体です。一見、災害とは無関係に思うかもしれませんが、自然災害が発生した際に、被災された方の困りごとの調査や支援活動を行うボランティアをサポートするため、行政や民間支援セクター(NPO・NGO、企業など)と協働して、「災害ボランティアセンター」を設置・運営します。

災害発生時に被災された地域の方の心に寄り添い、地域の復旧・復興活動を行うため、これまで以上に災害ボランティアセンター、行政、民間支援セクターの三者が密に連携を図りながら支援を展開していくことが求められています。

## 災害ボランティアセンター設置・運営訓練



社会福祉協議会が設置、運営を担う「災害ボランティアセンター」。発災後、円滑に設置、運営できるよう毎年、釜石市社協と相互に連携を図りながら、隔年で設置、運営訓練を実施しています。

今年度は10月18日(金)に大槌町文化交流センターおしゃっちで開催し、町内からは行政職員、NPO等の団体職員、社協職員が一堂に介し、災害ボランティアセンターの設置から運営の流れを疑似体験しました。

## 山形県酒田市 災害ボランティアセンター運営支援

令和6年7月に発生した豪雨災害における被災地支援の一環で、9月4日(水)から8日(日)までの5日間、山形県の酒田市災害ボランティアセンターで災害ボランティアセンターの運営支援を行うため、本会職員を派遣しました。酒田市では家屋へ流入した土砂を取り除くため、山形県内外から訪れるボランティアの協力を得ながら、土砂の撤去作業等を行っています。



## 防災教育 ～ゲームで学ぶ、備えの必要性～



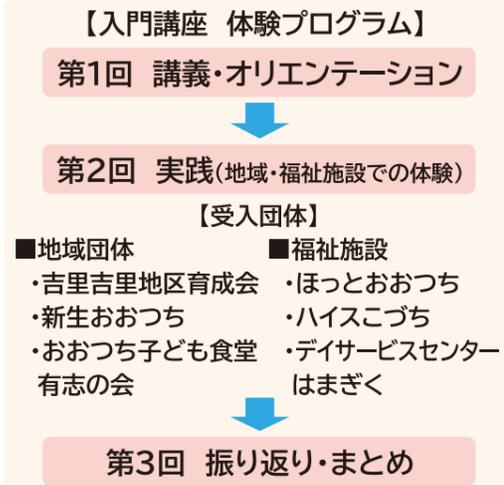
災害発生時の避難所をボードゲームで体験できる「避難所運営ゲーム(通称:HUG)」があります。本会では、HUGを通して、平時からの地域づくりの必要性を感じてもらおうと町内の学校と協力して、毎年、防災教育の授業を行っています。今年度も10月4日(金)に、吉里吉里学園9年生を対象に防災教育の授業を行い、HUGの体験を通して「平時からの地域のつながりの必要性」について考えてもらいました。

# 高校生のパワーが、 地域をつなぐ ボランティア入門講座

令和6年9月に大槌高校の生徒がボランティア入門講座に参加し、福祉施設や地域でボランティア活動を行いました。  
新たな試みとして、開催した講座内容でしたが、大槌高校11名が参加し、地域活動や福祉施設でボランティア活動を行いました。



「ほっとおおつち」で活動する大槌高校の石井さん



## 体験者の声

職員や利用者の方と明るくたくさん話をすることができました。体験後は、今まで以上に話をする相手のことを気に掛けられるようになりました。



飛田冴英さん  
(大槌高校3年)

介護施設をどのような人が利用しているか知ることができました。スタッフの利用者さんへの接し方がとても勉強になりました。



中村音遠さん  
(大槌高校1年)

# 介護ナビゲーション

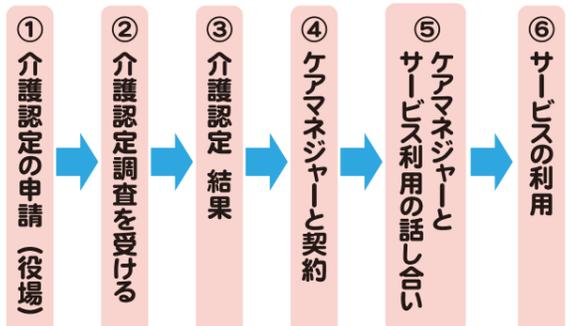
こづちちゃんのちょっと教えて!

今回ご紹介する施設 **ほっと おおつち**  
大槌町大槌 12-71-2 / TEL 0193-55-6011

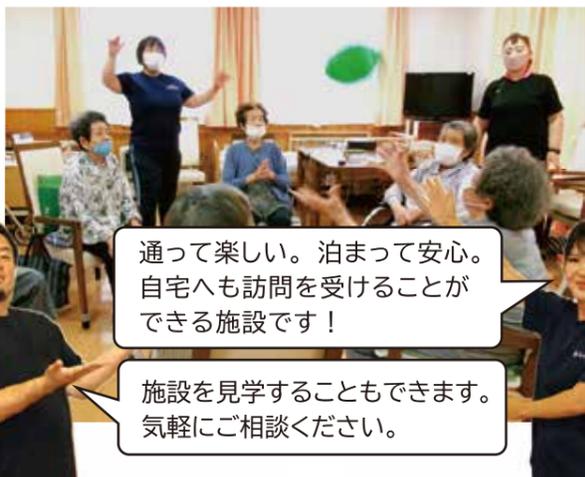
社協で運営している介護施設や障がい者就労支援施設の「ほっとな内容」をお伝えします。



## 介護サービス利用に向けた流れ



- ・「通う」「泊まる」「訪問」のサービスを一つの施設で利用することができます。
- ・利用者や家族の状態に即応したサービス
- ・利用料金は、一か月ごとの**定額料金**となります。  
(※定額料金のほかに食事代やおむつ代などが掛かります。)



通って楽しい。泊まって安心。自宅へも訪問を受けることができる施設です！  
施設を見学することもできます。気軽にご相談ください。

# 大槌町を元気に こづちちゃんが行く!!

今回は、「シン・コンビジ部会」で活動している関谷啓佑さんにインタビューを行いました。



活動している関谷啓佑さん

■「シン・コンビジ会」って、どんな活動を行っている団体なの？  
2021年から大槌町観光交流協会の部会の一つとして、『コンテンツビジネス戦略事業部会』として立ち上がりましたが、2024年3月を持って活動が終了することになりました。  
部会を通じて、同じ趣味でつながり、ゆるく楽しく続けられたら良いと考え、同年4月から新たなコンテンツビジネス(略してコンビジ)として、『シン・コンビジ部会』をスタートすることにしました。  
“シン”を付けることによって、気持ちを新たに「アニメや漫画などのエンターテインメントを活用し大槌町を盛り上げよう！」という目的を掲げられることができた良いグループ名となりました。

■どのような形で交流を深めているのですか？  
部会の中で、話したいアニメやマンガ、テーマを提案するのが最近のスタイルになっています。会員それぞれが好きなことを紹介したり、クイズ大会をやってみたり…、それが新たな発見やこれまで交流のなかった方とのつながりになっています。



30年以上前の週刊少年ジャンプを見て盛り上がる

■現在の会員数と開催頻度は？  
参加したい場合はどうしたらよいの？  
現在の会員数は30人くらいになります。最近では町内だけに留まらず、県外にも仲間が増えつつあります。開催頻度は週1回、毎週木曜日の夕方にチャリカフェさんを会場にして集まっています。  
新たに参加したい方も募集しています。『シン・コンビジ部会』のInstagramからご連絡ください。

■大槌町への思い、伝えたいことを教えてください。  
年齢や性別の枠を超えて、好きなことを夜な夜な語り合う…、そんな素敵な場所が大槌町にあるんだよ！ということをもっともっと広めていきたいと思っています。  
それがいずれ「アニメやマンガなどのエンターテインメントを活用した大槌町を盛り上げよう」という部会の目指す姿に近づいていけばよいと思っています。身近なところでアニメやマンガの話をもっと語り合いたい…という方がいたら、ぜひご参加ください。一緒に大槌町を盛り上げていきましょう！



アニメやマンガといった共通の趣味でつながる、素敵なコミュニティとなっていますね。興味のある方はぜひ参加してみてください。





# お知らせ



## 産業まつり 物産展の報告

産業まつりにおいて被災地支援の一環で、物産展を開催し、多くの方々からご理解とご協力を頂きました。売上については社会福祉法人酒田市社会福祉協議会へ寄付いたします。

酒田市物産展	43,996円
義援金	3,561円
<b>合計</b>	<b>47,557円</b>

## 日常生活自立支援事業のご案内

高齢者の方や障がいのある方が地域で安心して生活が送れるよう福祉サービスの利用手続きの援助や代行、また、それにとまなう日常的な金銭管理などを行っています。

- 対象となる方…認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方
- 主なサービス内容…公共料金等の支払い及び福祉サービスの手続き代行等
- 利用料金…相談は無料  
契約後は1時間あたり1,300円
- 相談日…毎週月曜日～金曜日
- 時間…午前8時30分～午後5時30分
- 住所…釜石市大渡町3-15-26  
(※のぞみ病院9階 釜石市社協内)
- 電話…0193-31-1331(直通)

## 生活福祉資金のご案内

生活福祉資金貸付制度とは、他の貸付制度が利用できない低所得世帯や障がい者世帯などの経済的自立と生活の安定を目指し、国と県が資金を出し合い、無利子や低利子で資金貸付を行うものです。

- ご利用いただける世帯  
低所得世帯…世帯の収入が一定基準以下の世帯  
障がい者世帯…障がい者世帯(知的・身体・精神)  
※障がい・療育手帳の交付を受けている者の属する世帯となります。  
高齢者世帯…65歳以上の高齢者の属する世帯  
※所得制限あり  
生活保護世帯…生活保護を受けている世帯
- 貸付金の種類  
① 総合支援資金…就職までの間の生活費  
② 福祉資金…医療費用、一時的な生活費など  
③ 教育支援資金…進学費用、就学支度金など  
④ 不動産担保型生活資金…居住用不動産を担保に生活費の借入れを行います。

**編集後記**

毎年「漢字の日(12月12日)」に、その年の世相を漢字一字で表す行事がありますが、私は「増」を選びます。海外から観光客の増加、地域との交流機会の増加、物価高による家計の負担増加、止まらない私の体重増加：様々ありますが、みなさんはどんな漢字を思い浮かべますか。(也)

## 社協会費のご協力 ありがとうございます

社会福祉協議会会費のご協力をお願いしたところ、多くの方々にご賛同頂きました。住民の皆さまからの温かいご理解とご協力、大変ありがとうございました。会費は、暮らしの復興に関する事業や福祉のまちづくりに活用させていただきます。

一般会費	3,546世帯
<b>1,766,000円</b>	
賛助会費	1件 3,000円

## 寄付寄贈のお知らせ

令和6年6月から9月までに受付分をご紹介します。ご支援頂きました皆さま、本当にありがとうございました。

- 祝田観音教会 様…5,000円
- 公益財団法人釜石法人会 様…車イス2台



- いわて生活協同組合 様  
…食料支援用の食料品



- 東北電力ネットワーク釜石電力センター 様  
…食料支援用の食料品

